

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 11 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長 丸山 剛	
環境-18	実施事業	海岸清掃事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 環境保全課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	海浜の環境保全

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な生活環境の実現のため。
効果	散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

・海岸美化を推進するため海岸清掃を行う公益財団法人かながわ海岸美化財団への海岸清掃事業費の負担を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	15,644	21,254	当初予算(千円)	23,074			
	国県支出金	10,508	10,349	国県支出金	11,684			
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	5,136	10,905	一般財源	11,390			
事業経費運営	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0			
	人件費(千円)	7,614	7,667	人件費(千円)	7,784			
	総事業費(千円)	23,258	28,921	総事業費(千円)	30,858			
	市民1人当りの経費(円)	131	164	市民1人当りの経費(円)	175			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 市民ボランティア

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	散乱ごみのない良好な海岸を保つためにも、定期的な清掃を継続していくことは重要であり、良好な海浜の状況を保つために現状の事業規模の維持継続は必要である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	・海流の流れなどにより打ち上げられる海藻等が近隣市に比べ多くみられるため、その対応に苦慮している。海岸は市民の憩いの場としても利用されていることから継続的に対応して、海岸をきれいな状態に保っていく。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・海岸における観光客を含めた利用者に対しごみを散乱させないよう周知・啓発を行うとともに、海浜の環境保全に取り組む。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	・観光客等、利用者が多く集まる海岸を中心に、かながわ海岸美化財団や市民、活動団体とともにごみの集団清掃及びごみ散乱防止の啓発活動を実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・引き続き、散乱ごみ等のない良好な海岸の環境が保全されるよう清掃業務を実施していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考			
当該指標を設定した理由		H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	海岸清掃の対象となるごみは、主に海から海岸への漂着ごみであるため、その量は毎年台風など気象条件によって大きく変化している。							
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--